

夏休み 子供たちが挑戦

飯塚市教委が夏休みを利用して、ソフトバンクが開発した人型ロボット「ペッパー」のプログラミング講座を片島小で開いた。既にある際、プログラマーにペッパーのプログラミングを経験した子供たち向けの「トップアツコース」では、中荃隆・九州

「思ったより簡単にできた」

飯塚・片島小「ペッパー」プログラミング

工大准教授(制御工学)の指導で、少し難しいプログラミングに挑戦した。

市内では11小学校と3中学校に3年間、ペッパーが無償貸与され、授業などで活用している。講座では、ペッパーに話や動作をさせる

プログラミンクを組み合わせ、人間の「はい」「いいえ」という言葉に反応して返事をさせるなどの体験をした。ペッパーに文章を読ませる際、ひらがなだけで入力するのと漢字・カタカナを交えた場合で抑揚などが変わること学んだ。

学校のパソコンクラブでペッパーに接しているという若菜小6年、川越政剛さん(12)は「思ったより簡単にできた」と話した。初めてペッパーに触れる「ビギナーコース」もあり、合わせて約60人が学んだ。

【平山千里】



講師が見守る中、ペッパー(左端)を動かすプログラミングに挑戦する児童